

## 第3回 砂川市立小中学校統合準備委員会 会議記録

○日 時 令和4年8月4日(木) 18:00~18:59 (所要時間=59分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 21名

【教育委員会】 6名 教育次長、指導参事、技監、学務課長、総務係長、学校教育係長

【事務局】 5名 学校再編課長、課長補佐、係長、主事2名

○傍聴者 1名 (男性0名、女性1名)

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

3. 報告事項

- ・交流(連携)事業について
- ・砂川市義務教育学校建設基本設計・実施設計委託業務について
- ・小中一貫教育、義務教育学校視察について

【議事の内容(要旨)】

事務局

- ・交流(連携)事業について

「砂川中学校石山中学校 2学年交流会」については、7月12日に砂川中学校の体育館にて、砂川中学校の2年生82名、石山中学校の2年生29名の計111名が参加し、レクリエーション交流会を実施しました。

交流会では、ジェスチャーのみで誕生日順に整列するものや、与えられたテーマでコミュニケーションを図るものなど3種類のレクリエーションを実施し、交流会が始まるまでは不安と緊張が入り混じったような表情の生徒が多く見受けられましたが、交流会が進むにつれ徐々に打ち解けた感じでした。

砂川中学校の生徒の感想としては、「石山中学校との交流は最初不安だったけれど誕生日ゲームや笛の数で集まるゲームなどを通して石山中学校の人と関わってみたらみんな優しく話しやすかった。4月になってまたみんな来るのが楽しみだと思った」「最初はちょっと緊張していたけれど笛の数で集まるゲームの時に話した子が優しくたくさん話せて楽しかったです。交流会をする前は石山中学校との統合をあまり良く思っていなかったけど、交流会をしたらはちょっとだけ楽しみになりました。もっと仲良くなりたいので、これから交流会が増えると良い

なあと思いました」、石山中学校の生徒の感想としては、「交流会を終えて私が思ったことは、仲良くできそうだなと思いました。1つ目のゲームではすごくフレンドリーな女子がいたけれど、名前をみたりすることができなかった。2つ目のゲームではまったく話すことができなかったけれど、話しかけてくれる人がいて嬉しかった。3つ目のゲームでは快く人がきてくれたのでよかった。あまり行きたくなかったけれど行ったら楽しくて良かった」「7月12日になるまでは砂川中学校との統合が嫌で石山中学校で卒業して高校に行きたいなと思っていましたが、7月12日の砂川中学校と石山中学校の交流会では砂川中学校の人たちが考えた遊びで交流会をし、面白く楽しそうなゲームでした。そのゲームをしてみて、砂中のみなさんと出された話題で話して、とても楽しく、馴染みやすかったです。最後には借り人競争をしていて、砂中的人是石中の人を、石中的人是砂中の人をつれていくルールでとても仲が深まりました。嫌だと思っていた砂川中学校との統合が今になっては楽しみになり、はやくその日がこないのかと思います。この2時間が長いようで短く、その時間が統合に向けて良い時間だったと思います」という感想がありました。

校長先生から実際に交流授業を見て、感想などがありましたら、ご発言をお願いします。

#### 委員

最初は、抵抗があった生徒もいましたが、時間が経つにつれて、大人が心配する以上に子どもたちはうまく考えてやっていくのだと体育館で交流を進める様子を見ながら感じました。最初は、距離もありましたが、ゲームを2つ、3つと進めるにつれて、物理的な距離だけではなく、笑顔などの表情からも心の距離も少しは近づいたのではないかと思います。生徒たちも「統合が楽しみになりました」というふうに、統合を楽しみにしてくれる生徒が増えたというのが私としては、この交流の1番の成果だと思います。もちろん、まだ不安が解消されていない生徒も当然いると思いますので、交流事業に時間を使うのが1番大事なのだと思いました。ただし、学校を運営しながら、何度も実施することは難しいかもしれませんが、生徒の感想の中にも「またこういう交流ができたらいいな」という声がありましたので、なるべく叶えてあげられるように時間を作りながら、少しでも多く交流が出来たら良いなと思います。生徒たちを信じて任せるということも大事なのだと生徒たちの様子を見ながらすごく感じました。

#### 委員

当日、石山中学校の生徒もバスに乗る前は、少し硬い表情で漏れてくる声も「え一行くの」という感じの雰囲気でした。ですが、砂川中学校の体育館に入る時に砂川中学校の2年生に拍手で迎えられ、驚きながらも暖かく迎えられて嬉しそうな表情をしながら入っていったのがとても印象的でした。砂川中学校の2年生に迎え入れる雰囲気を作ってもらい、そこに石山中学校の生徒が入っていったので、そのあとのゲームも非常にスムーズに進み、打ち解けていったように感じています。石山中学校の生徒の感想には、「よかった」「楽しかった」「またやりたい」という言葉が入っていて、不安や緊張感が大きかった分、安心したというのが、そういう感想に繋がってるのかなと思うぐらい、全員が良い感想でした。また部活間の交流については、野球部とバレーボール部のそれぞれの保護者の会で話し合

いを進めており、野球部については、既に交流も始まっています。今後、そういう活動がどんどん増えていくと思いますが、子どもたちが良い表情をしながら交流を進めていくことが保護者にも伝わり、安心してもらえるものだと思います、交流事業を進めています。

もう一つの北光小学校の学習サポートの交流については、中学生が小学校に出向き、小学生の勉強を見るという事業ですが、最初、少し不安もありましたが、小学生が一生懸命真面目に取り組んでいて、逆に中学生の方が「すごい真面目すぎてびっくりした」という感想を持ちながら帰ってきていました。こういう機会は、子どもにとっても良い刺激になり、中学生の感想にもあるように、良い経験になる事業だったと思っています。

## 事務局

ほぼ全ての生徒が「交流会をやってよかった」「不安が少し解消された」「統合が楽しみになった」という前向きな感想を持っていました。また、もっと交流会を行って欲しいなどと言った意見もありました。今後、授業交流や生徒会の交流、部活動の交流も予定されているので、報告させていただきたいと思います。

次に、「北光小学校夏休み学習サポート事業」については、7月25日と26日に北光小学校にて実施されました。今回は、砂川高校の生徒だけではなく、石山中学校の生徒も参加して学習のサポートとその後に交流する小中高連携の事業となりました。

参加者は、2日間ののべ人数で、北光小学校の児童42名、石山中学校の生徒9名、砂川高校の生徒8名が参加しました。

北光小学校の児童は学習のわからないところなどを、石山中学校、砂川高校の生徒に教えてもらいながら、一生懸命取り組んでおり、その後の交流の時間では、砂川高校の生徒が考えた遊びをとっても楽しんでいる様子でした。

2日目には中高生も児童たちも前日より打ち解けていて、ドッジボールや鬼ごっこを楽しんでおり、帰り際も玄関まで一緒に話しながら歩き、別れを惜んでいるような感じも見受けられました。

石山中学校の生徒の感想としては、「小学生に勉強教えるのは難しかったけれど、楽しかったし、とてもいい経験になった」「この2日間、小学生のみなさんが、一生懸命勉強していて、僕も教えるのが難しかったけれど、参加できてよかった」「1・2年生はリラックスして勉強していて、楽しそうだった。自分の復習にもなってよかった」「1～4年生はとても元気がよくて、5・6年生はとても真面目に取り組んでいてすごく感心した。教えているときに、自分も小学校の時にこんな勉強をしていたんだなど、思い出して懐かしい感じがした。自分にとっての勉強にもなったので、今回参加してよかったです」「みんなしっかり勉強してくれていて、教えてもしっかり聞いてくれて嬉しかった。またこういう機会があったら参加したいと思いました」、砂川高校の生徒の感想としては、「みんな真面目に勉強していて、時間での気持ちの切り替えが上手だなと思いました。レクをしていたときには、1～6年生までみんな仲がいいんだなあと感じました」「みんな一生懸命に勉強をしてくれていた。話もよく聞いて、進んで勉強をしてくれていた。レクの時はみんな仲良く楽しくできてよかったと思いました」「勉強が教えやすかった。素直に質問してくれたり、話を聞いてくれたり、話しかけやすい雰囲気だ

った。レクリエーションの時も、とても楽しかったです」「最初はうまく教えられるか不安だったけれど、子どもたちがとても積極的に話しかけてくれて、楽しく勉強ができてよかったと思いました」という感想がありました。

北光小学校の校長先生から感想をお願いいたします。

委員

4月に北光小学校に来てから、毎朝校門前に立って子どもを迎えています、目の前を石山中学校の子たちが自転車に乗って学校に行きます。「おはよう」「気をつけて行くんだよ」と声かけると、ほとんどの子が挨拶や「ありがとうございます」と返してくれる、とても感じが良い中学生です。それで、学習サポートも、ずっと砂川高校の生徒をボランティアにお招きしてやっていたと聞きました。そこで、「いやいや、身近にこんな素敵なお兄さん、お姉さんがいるのだから、ぜひ中学生にも来てほしい」ということで、6月上旬ぐらいに石山中学校の校長先生に連絡して「連携させてもらえませんか」といったところ、快く引き受けてくださって実現しました。小学生も「お兄さん、お姉さんに勉強教えてもらってとっても分かりやすかった」ですとか、6年生の子は「夏休みに入ってすぐ、こんなに勉強をいっぱいしたことはなかったぐらい勉強した」というような感想を言っていました。また、最後お別れする時に1年生の子が感想を言いたいということで名乗り出て中高生にお礼を言ったのですが「また来て欲しい」と、その1年生、中学3年生の、しかも北光小学校出身じゃない空知太小学校を卒業した子に、とても面倒を見てもらい、そのお兄さんに向かって感想を言っているところを見て、義務教育学校になると小1から中3までが同じ環境で生活していくことから、校種を超えた年の幅が広がる関係や交流も生まれてくるのだと思いました。一足早く、良い経験を子どもたちにプレゼントできたかなと思います。冬休みにも同様なサポートを行い、子どもたちにお兄さん、お姉さんとの交流や接し方を身につけてもらえると嬉しいと思っています。

事務局

2日間、学習風景や交流している様子を見て、とても良い取り組みであると思いましたので、今後も各学校で実施できると良いと感じました。

二つの交流事業の様子については、統合準備日よりでもお知らせしたいと思います。

事務局

・砂川市義務教育学校建設基本設計・実施設計委託業務について

砂川市義務教育学校建設に向けて、基本設計・実施設計業務を委託するにあたり、広く技術提案を募集し、最も適切な者を当該業務の受託候補者として選定するため、公募型プロポーザルを実施しました。

実施スケジュールは、5月23日から参加表明書を受付、一次審査を6月16日に実施、その後、技術提案書を提出いただき、副市長を委員長とした6名で組織された選定委員会を7月11日に開催して、ヒアリング審査を実施し、札幌市にあります、株式会社アトリエブंकが最高点となり、受託候補者として選定し、7月22日に契約を締結しました。

・小中一貫教育、義務教育学校視察について

7月21日に小中一貫教育の先進地として北広島市と、29日に今年度既存校舎を増築・改修して、義務教育学校を開校した帯広市の大空学園義務教育学校の視察に行きました。

小中一貫教育に関わる視察については、小中一貫教育推進委員会の会長、副会長及び校長会、教頭会、教育委員会事務局職員の計8名にて、北広島市立東部小学校を視察し、東部中学校教諭による乗り入れ授業として6年生の授業参観や北広島市の小中一貫教育の取り組み等について説明を受けてきました。

北広島市では、平成30年から全市で小中一貫教育に取り組んでおり、北広島市の小中一貫教育の基本方針をもとに、市内6つの中学校区ごとに小中一貫教育推進組織を作り、それぞれ独自の取り組みを実施しています。

今回視察した東部中学校区にある東部小学校では、6年生社会科と5年生家庭科について、東部中学校の教諭が乗り入れ授業として1年間授業を受け持っており、子どもたちは、一足先に中学校の授業に慣れることができるとともに、中学校に進学した際にも、知っている先生がいるというのは非常に心強いというメリットがあるということでありました。また、東部中学校にとっても、児童の特長を入学前に、その中学校の先生を通して知ることができるのは非常に有益であるということでもありました。なお、東部中学校区には、東部小学校と北の台小学校という2校の小学校がありますが、北の台小学校についても同様の取り組みが行われています。

また、東部中学校区では、東部スタンダードとして、①挨拶をしよう、②言葉遣いに気を付けよう、③時間を守ろう、④整理整頓、清掃に力を入れよう、⑤忘れ物に気を付けよう、⑥思いやりの心を持とう、⑦ルールを守ろう、という7つのルールを定めて実践しており、この〇〇スタンダードというのは各中学校区で定めています。

乗り入れ事業についても、各中学校区による取り組みは様々であり、今年度、西部中学校区では、6月に5年生と中学2年生で合同体力テストの実施、7月には5年生理科と6年生算数の授業を中学校教諭が行うといった取り組みがされたほか、大曲中学校区では中学校区内の大曲小学校と大曲東小学校の5・6年生の理科と英語の授業で大曲中学校教諭による乗り入れ授業が行われています。

また、小学校のテストは、単元ごとのテストが行われていますが、北広島市では中学校の広範囲での定期テストを意識させるため、6年生に対して、中学校の教諭が小学6年生の学習範囲内で作成した広範囲のテストを受けてもらう取り組みを行っており、中学校進学後、定期テストなど範囲の広いテストに困惑しないような取り組みが行われています。

また、7月29日には義務教育学校の建設にかかる視察として、帯広市にある帯広市立大空学園義務教育学校へ教育委員会の職員7名で視察をしてきました。

大空学園は、大空中学校の校舎を増築・改修して、令和4年度に開校した帯広市では初の義務教育学校となります。建物は増築・改修しているため、構造的に壊せない部分があるなど改修に制限があるほか、工事においても、工事関係者と生徒の動線分離や騒音対策に苦慮し、音の出る工事は、放課後や休み時間、休日をメインに工事を行ったようですが、作業が断続的になり効率的に工事が進まなかったことや、授業場所から離れた工事であっても音が響いて授業に支障が出た

場合は作業を中断するなどスムーズにいかない場合があったとのことです。

しかし、増築・改修ならではの工夫も随所に見られ、児童玄関の下駄箱が少しでも広く感じられるような工夫であったり、給食の配善室付近にエレベーターを設置することでダムウォーターを設置しないなど、新築に比べると、制限はあるかもしれませんが、学校としての機能は全く問題のない素晴らしい学校でした。

その他、工事関連以外としましては、制服関係での確認について、帯広市の中学生はジャージ登校が多く、制服は購入ではなくレンタルする人が多いとのことで、費用については、年間1万円でレンタルが可能とのことですが、大空学園については、開校したばかりでレンタルがないとのことでした。大空学園の制服の着用については、7年生から着用していますが、今後、5・6年生に対しアンケート調査を実施し、5年生からの制服着用について検討を始めるとのことでした。

## 質疑、意見等 特になし

## 4. 協議事項

- ・スクールバスの運行について

### 【議事の内容（要旨）】

事務局

中学校統合後に運行するスクールバスについて、これまでの経過や昨年度より引き続き協議を要する事項、新たに協議していただく事項などについてご説明をさせていただきます。

1. これまでの経過・決定事項につきましては、

①対象者は、統合によって遠距離通学となる石山中学校区に居住する生徒を対象とします。

②運行経路及び停留所は、登下校に関して、運行経路は3経路とし、停留所は、乗車時間に考慮しながら、状況に応じ2～3か所とします。

経路①は、富平地区コミュニティセンターを出発し、北地区コミュニティセンターを経由し、砂川中学校へ。経路②は、空知太老人憩の家を出発し、石山中学校を経由し、砂川中学校へ。経路③は、一の沢を出発し、北光小学校と若草公園前を経由し、砂川中学校へ、となります。経路③の若草公園前は、昨年度の協議では、すずらん団地として表記していましたが、警察との協議をもとに生徒の安全面や道路交通法などを鑑みて、若草公園前を停留所としました。

③一般利用の有無は、車両はあくまでも生徒の専用車両として運行しますので、一般市民の混乗はしません。

④利用料金は無料といたします。

⑤運行回数は、登校時に1便、下校時に2～3便とし、下校時の1便目は、終業時間に併せた便、2便目は、生徒会活動など、放課後の諸活動に併せた便、3便目は、部活動に併せた便となります。

土曜日の運行については、部活動対応便として、砂川中学校と石山中学校の巡回を基本として運行します。

会長 ありがとうございます。ここまで皆さんよろしいでしょうか。経過・決定事項を確認できたと思います。何か質問、確認しておきたいことがあれば、挙手の上発言をお願いします。では、続いてお願いいたします。

事務局 続いて2.本会議の協議事項ですが、協議内容は、学校休業日の運行についてであります。

昨年度の統合準備委員会でも協議事項とされていましたが、学校休業日の運行についてですが、本年度も引き続き協議をさせていただければと存じます。

現時点での決定事項としては、土曜運行便として、週末の練習日を土曜日に統一し、砂川中学校・石山中学校間の巡回運行の実施です。

それに対して、冬季期間の部活動が土曜日と日曜日に分けて実施しているので、土曜日に練習日を集約するのであれば、他施設の活用を検討してほしいこと、また、夏休みや冬休みなどの長期休業日の運行及び祝日の運行の実施について、ご意見が出ていました。

以上のご意見などを踏まえ、事務局としては、1つ目に、土曜日の運行について、4～9月の夏季期間は、練習場所が砂川中学校で、経路は、砂川中学校と石山中学校間の巡回運行とし、10月～翌年3月の冬季期間に関しましては、練習場所は砂川中学校のほか、他施設を活用し、砂川中学校と石山中学校と他施設の運行を予定しています。

2つ目に、日曜日の運行について、週末の練習はどちらか1日を休養日とする旨、国の部活動の指針や各中学校の部活動の指針にも記載されており、また、学校にも確認をして、週末の練習日を土曜日に集約しますので、日曜日の運行はしない形となります。

3つ目に、夏休みや冬休みの長期休業日の運行については、練習は学期中と同様の頻度で行われているので、運行を予定し、経路は夏季・冬季期間ともに砂川中学校・石山中学校の巡回運行を予定しています。

4つ目に、祝日の運行について、基本的には部活動が行われているため、運行を予定し、夏季期間は、砂川中学校と石山中学校の巡回運行、冬季期間は、砂川中学校と石山中学校と他施設の運行を予定しています。

スクールバスの運行についての説明は以上です。

会長 他施設について、もう少し詳しく教えてもらえますか。

事務局 他施設は、市内の体育施設を予定しています。どの施設を使うかは、内部で協議をしています。

会長 学校の体育館だけでは部活動ができないので、他の施設を使うようです。これから、バスが購入されて、実際に冬に試験運行を実施して、変更があるかもしれませんが、現時点で何か質問、確認しておきたいことがあれば、挙手の上発言をお願いします。

委員 昨年から会議に参加していますが、当初、長期休業の運行は予定していない

ということで進められていましたが、石山中学校区の子どもたちは、スクールバスがなければ、部活に通えないという理由で部活を断念するのではないかと、このことを少し強く言わせてもらっていました。そういう意見を取り入れ、こういう形で運行していただけるのであれば、子どもたちも安心して部活動に参加できるのではないのかなと思いました。

会長 他よろしいでしょうか。

委員 今年から会議に参加しているので、昨年同じ質問が出ているかもしれないのですが、石山中学校の子どもたちは、砂川中学校まで自転車で通うのは良いのですか。

事務局 基本的には、大丈夫です。学校の決まりはこれから決めていくこととなります。石山中学校区の全生徒がスクールバスの対象になるので、自転車通学をする場合には、事前に乗らないという連絡をいただきたいと思います。

会長 他よろしいでしょうか。

委員 「石山中学校から砂川中学校」ということは、石山中学校に全員集まるということですが、石山中学校は閉校した後もそのまま残るのですか。誰かが石山中学校を買い取って別な施設にする予定は今のところないと思うのですが、もし、石山中学校を誰かが買って何かをする場合、どうなるのですか。

事務局 現時点では、誰かが石山中学校を買い取るという話はないので、当面は石山中学校をバスの停留所にしたと考えていますが、今後の活用方法によっては使えなくなる可能性もありますので、その場合は、改めて別の停留所を考えたいと思います。

会長 他よろしいでしょうか。問題がないようなので、こういう形で進めさせていただきたいと思います。

事務局 それでは、説明を続けます。

最後に、3. 検討スケジュールですが、中学校統合に関する事項及び義務教育学校に関する事項について、協議事項と協議時期について、表のとおりとなります。新たな協議事項が出てくる場合もありますので、その際は、都度協議・検討をさせていただきたいと思います。

説明事項については以上です。

会長 次回、運行のマニュアル等を協議する際に、また委員の皆さんからご意見をいただきたいと思います。義務教育学校の開校が近づくと様々な協議事項が出てくると思いますので、よろしく願いいたします。それでは協議は、これで終わってよろしいでしょうか。何か質問、確認しておきたいことがあれば、挙



手の上発言をお願いします

委員 　他の市町の例を見ると、学校における学習活動の中で市町内での調べ学習等において、見学に出向く際にスクールバスを活用している例があります。当市の場合も、スクールバスを導入するにあたって、運行の他にそのような活用の予定はありますか。また、バス自体は、今年度取得すると聞いていますが、もし活用が可能なのであれば、今年度の後半から活用はできますか。

事務局 　スクールバスは、生徒の登下校に限定して使用したいと考えています。ただし、登下校に影響しない時間帯の市内の移動については、スクールバスの運行業者との協議で、今後検討の余地はあると考えています。また、今年度10月末に、スクールバス3台を導入する予定となっていますが、実証運行のみの活用を考えています。市内での調べ学習等の移動については、学務課で別途バスの予算等を措置しているので、そちらを活用いただきたいと思います。

委員 　スクールバスの活用がまったくできないのではなく、運行業者と検討する余地があるという回答を聞いて、少し安心しました。

会長 　他よろしいでしょうか。なければ協議はこれで閉めさせていただきます。

## 5. その他

### 【議事の内容（要旨）】

会長 　それでは、「その他」に移ります。事務局何かありますか。

事務局 　次回の日程について、9月20日火曜日18時から本日と同じ会場の市役所大会議室で開催したいと考えています、いかがですか。

会長 　次回、9月20日火曜日18時から本日と同じ会場の市役所大会議室で開催したいと思います。これで、第3回砂川市立小中学校統合準備委員会を閉会します。ありがとうございました。

以 上